

(2010.11.4)

発行：島根大学男女共同参画推進室（さぼっと SU-PPOT）

最近『鳥が教えてくれた空』『そっと耳を澄ませば』という本を読みました。どちらも三宮麻由子さんという全盲の女性がかかれたエッセーです。翻訳会社に勤めながら、俳句を嗜み、楽器を弾き、お味噌まで手作りするという三宮さんは、朝、目が覚めて今何時なのか、今日はどんな天気なのかを鳥の鳴き声を聞き分けることで知るのだそうです。山登りをして自分がどこまで高く登ったかは虫の鳴き声の聞こえ方で知り、温泉の湯質は手に触れる湯の手触りで知り、花火はその音の中に旋律を聞き取る・・・等々。私は目が見えるかわりに、逆に何と豊かな世界を感じられずにいたのか、と思いました。この世には、いろいろな違った個性をもつ人がいて、だからこそ素敵なのではないか、とあらためて思ったところです。さぼっとが推進している男女共同参画の目指す先は、構成員の多様化（ダイバーシティ）です。今後ともさぼっとの事業へのご協力をよろしく願います。

◆◆◆ ——— 今号の目次 ——— ◆◆◆

1. 松江市が男女共同参画都市を宣言しました（10/16）
2. 島根大学で男女共同参画シンポジウムを開催します（12 / 1）
3. 第7回「学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」のご案内（11/9）
4. ユビキタス実験にご協力いただきありがとうございます。アンケート実施中。
5. 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第16回 西山 桂
6. 「派遣型病後児保育サポートシステム」利用希望者、事前登録随時受付中！

1. 松江市が男女共同参画都市を宣言しました（10/16）

10月16日、松江市が男女共同参画都市を宣言し、島根県民会館にて記念式典が開催されました。男女共同参画都市の宣言は、島根県内では、出雲市（2005年）、江津市（本年4月）について三市目です。記念式典には、山本廣基島根大学長をはじめ、澤アツ子さぼっと室長ほか大学関係者も列席し、盛大に挙行されました。当日発表された、松江市男女共同参画宣言を以下にご紹介します。

松江市男女共同参画都市宣言

雄大な日本海や中海・宍道湖、緑あふれる八雲の山々。

私たちは、この豊かな自然の恵みをうけて、人と人との縁を紡ぎ、歴史と文化を育んできました。

私たち松江市民は、かけがえのないこのまちで、一人ひとりが性別にかかわらず、ともに支えあい、いきいきと暮らしていける明日をめざし、新たな一步を踏み出します。

男女共同参画

それは 松江の未来をひらく誓いの言葉

私は私らしく

あなたはあなたらしく

個性を輝かせて 生きていこう

ちがいがあるから 助けあえる

ちがいがあるから だからいい

いろんな個性が集まって 松江を元気にしていこう

男の人も 女の人も

楽しいことも 責任も

一緒に分かちあい

広い世界に思いをはせて

手を取りあって 歩んでいこう

みんなが幸せに 暮らせるように

この大好きな松江のまちが より美しくより豊かになるように

私たちは ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成22年10月16日 松江市

出雲市の男女共同参画都市宣言文はこちら

<http://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1143162819936/html/common/4cabledfc003.html>

2. 第2回中国四国男女共同参画シンポジウム「持続可能社会に向けての男女共同参画
～女性研究者支援モデル事業から見てきたもの」を開催いたします（12 / 1）

12月1日（水）島根大学主催で標記シンポジウムを開催いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。シンポジウムの参加についての事前申込みは不要ですが、シンポジウムに引き続き予定している懇親会に参加を希望の方は、11月10日（水）までにさぼっとまでご一報ください。

【日時・場所】 12月1日（水） 13時～17時15分 松江東急イン・オークの間

【日程】 主催者挨拶 島根大学長 山本廣基
特別講演 文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長 板倉周一郎氏
基調講演 「少子高齢化社会における女性の活躍と経済成長」
大阪大学大学院教授 松繁寿和氏
基調報告 「島根大学における女性研究者支援モデル事業の取組」
島根大学男女共同参画推進室長・教授 澤アツ子氏
ポスターセッション
事例紹介（講義） 独立行政法人国立女性教育会館理事・事務局長 久保真季氏
総合討論
懇親会（17:45～）

3. 第7回「学生相談についての教員とカウンセラーとの懇談会」のご案内（11/9）

恒例となりました標記懇談会を開催いたします。「気になる」学生をおもちの先生方のご参加をお待ちしています。昼食のご持参OKです。

【日時】 11月9日（火） 11時45分～13時まで

【場所】 男女共同参画推進室カウンセリングルーム
（さぼっと隣。総合理工学部2号館3階）

4. ユビキタス実験にご協力いただきありがとうございました

☆現在アンケート実施中（11/5まで）☆

10月下旬、松江キャンパス内各所に小型サイネージ端末（画像と音声による情報発信装置）を設置し、両立支援・女性研究者支援情報を発信しました。この実験は、サイネ

ージ端末を用いることで、島根大学構成員が有益な情報を受け取ることができたかどうか、その効果を測定しようとしたものです。予期しない場所での音声と画像に驚かれた方もおられたのではないかと思います。ご協力ありがとうございました。また、現在アンケートを実施しております。こちらは何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。アンケートは紙媒体とウェブからとどちらでも回答できます。紙媒体での提出を希望されるかたは、各部局事務室の回収箱までご提出いただければ幸いです。

○紙媒体のアンケート紙はこちらで印刷できます。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H22-10-22_1/file/eng.pdf

○ウェブで回答されたいかたはこちらへ

<http://www.shimane-u.ac.jp/gsysopen/AutoForm.asp?UserID=admin&PageID=42>

5. 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第16回

～育児というのは、じゃじゃ馬を飼い慣らすようなもの（1）～

西山 桂（教育学部）

《静かな朝の終焉》

私たち夫婦はもう10年近くも平穏な朝を過ごしてきたのである。それはむしろ静謐といってもいい。夜明け前に起きて、コーヒーを淹れる。書庫から取り出した本の世界に没頭したあと、出勤する。休日ならもう少し物語の余韻に浸る。部屋に朝日が差し込むと、その静かな一瞬が切り取られたかのような感覚に陥る。まるでフェルメールの描いた地理学者の絵のように。

しかしそのような静寂も永久には続かなかった。去年6月に長女がやってきてからというもの、すべてが変わった。赤ん坊が発する物理的な音によって静けさが破られ、私たちの生活リズムのすべてが躍動的になった。・・・・・・

続きはさぼっとの以下のページをご覧ください

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/record/child-men/nishiyama/01/>

6. 「派遣型病後児保育サポートシステム」利用希望者、事前登録随時受付中！

さぼっとは、本学の教職員・学生（留学生も含む）であれば、どなたでも利用できる「派遣型病後児保育サポートシステム」を実施しています。同システムの利用には、保護者による事前登録と保護者と病後児保育サポーターとの事前面談が必要となります。利用ご希望の方は、さぼっとまでご連絡ください。

詳細は、さぼっとの以下のページをご覧ください。

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-10-23_3/

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は
kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp までお願いします。

.....★お 願 い★.....

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方には届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表の方が講座内のスタッフ 全員に転送・配信くださいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、大変お手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸いです。

*** 誰もが 学びやすく 働きやすい 島根大学を ***

国立大学法人 島根大学

男女共同参画推進室 さぼっと

住所：島根県松江市西川津町 1060

Tel：0852-32-9766（内線 2371）

FAX：0852-32-9767

E-MAIL：kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

HP：<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/>
